

ヘルスケア・プロショップで相談しよう



## 知っておこう「ジェネリック医薬品」

最近、患者さまが医療を選択する時代といわれます。それは薬についても同じで、患者さまが新薬（先発医薬品）かジェネリック医薬品（後発医薬品）かを選ぶことができます。両者の違いを正しく理解し、納得してから選択することが大切です。

### 価格が安く、経済的にやさしい薬!?

薬には、一般の発明品と同じように特許があります。新しく開発された薬は通常、出願から20～25年は他の製薬会社が同じような薬を出さないように、特許によって保護されているのです。これが新薬（先発医薬品）です。これに対して、ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、新薬の特許期間が終わった後に、別の製薬会社が同じ有効成分で売り出す薬をいいます。

一般に、1つの新薬を開発するには長い年月と莫大なお金がかかります。ジェネリック医薬品はそうした研究・開発費が少なくてすむ分、価格が新薬の2～7割程度、低く抑えられています（日本ジェネリック医薬品学会発表）。そのため、患者さまの自己負担を軽減できるだけでなく、国の医療費削減にもつながります。

気になるのが有効性や安全性ですが、国ではさまざまな基準を定めており、現在、製造・販売されているジェネリック医薬品はそれらにすべて合格したものです。

### 変更したいときは、医師や薬剤師に相談

ジェネリック医薬品の中には、大きくて飲みにくい錠剤を小さくしたり、コーティングなどで苦味を少なくするなど、新薬にはない工夫が凝らされているものがあります。ただし、特許が切れた新薬すべてにジェネリック医薬品があるわけではありません。自分が今使用しているお薬にジェネリック医薬品があるかどうかは、日本ジェネリック医薬品学会の情報サイト (<http://www.generic.gr.jp>) などで検索できます。

医師が出す処方せんに「後発品への変更不可」という欄があります。ここに「✓」または「×」がついていなければ薬局でジェネリック医薬品を選択することができます。その場合は、薬剤師に変更したい旨を伝え、服用の仕方や薬の形、金額の違いなどについての説明を受け、必ず納得してから変更するようにしましょう。また、医師が最初からジェネリック医薬品を処方することもあります。ジェネリック医薬品を希望するときは、診察を受けるときに医師と相談するとよいでしょう。

なお、変更したいジェネリック医薬品が薬局に置いていないことがあります。その場合は取り寄せとなるため、少し時間がかかります。



イラストレーション：安西水丸

ヘルスケア・プロショップの健康情報紙『Life』は毎月薬局でお配りしています。【無料】